

前後期課程合同校舎外清掃（5月27日）

義務教育学校としての特色を生かし、異年齢の交流により互いに「影響力」を発揮しながら活動する取組も、すっかり当たり前の光景となりました。

後期課程保健美化委員長から、「校舎や近隣に暮らす人たちへの感謝」「前後期課程のコミュニケーション」を目的として取り組むことが伝えられ、「9年生と1年生」「8年生と4年生」「7年生と3年生」…というようにグループを編成して学校周辺の様々な場所に集合し、清掃を行いました。

後期課程の生徒たちは、「よろしくね」「ここに集まるよ～」「こっちについてきてね」「ここは〇班だよ！」「ゴミはここに入れてね」などと指示を出したり、活動に取り組む態度を「姿」で見せたりしてくれるなど、頼もしいリーダーシップを発揮してくれました。

前期課程の子供たちからも、「これはゴミ？」「木の枝はどうしたらいいの？」「ここに入れていいの？」「見て見て！たくさん集めてきたよ」…などとお兄さん・お姉さんに対して進んでコミュニケーションをとり、互いに笑い合いながら活動を進める様子が見られました。

今年度は、児童委員会を再編し、子供たちを出発点とした後期課程との連携が生まれるよう工夫しているところです。今日の取組を「第一歩」としてお互いを知ることを通して、「こんなことができるかも？」というアイデアをどんどん出していってくれることを期待しています。



◆ 5月30日（月）は、2年2組が阿寒湖畔自然体験活動に出発！詳しい様子は、またの機会にお知らせします。